

アンジェ市長のメッセージ

アンジェ市は忘れていません

アンジェ市は、故郷から遠く離れた地でフランスのために命を落とした兵士たちのことを忘れていません。

特に、1900年に30歳で亡くなったフランソワ・ルリエーヴル軍曹のことを思い起こします。

他の6人の仲間とともに広島陸軍墓地に眠るフランソワ・ルリエーヴルは、軍歴を積んで、下士官から軍曹に昇進しました。

彼の昇進は、海外で活躍するフランス軍人の輝かしい手本でありました。

フランソワ・ルリエーヴルは、フランスの、またわが美しい町アンジェの誇りです。

彼は、広島町とアンジェ町の友好関係をいつまでもつなぐ絆です。

本日、彼の名誉にかけて、またフランスのために命を落とした全ての兵士のために、我々に共通の思いの歌を、世界の歌に合わせて歌いたいと思います。

アンジェ市長、メヌ・ロワール県知事
クリストフ・ベシュ

(注：最後の文章は、アンジェ出身のタペストリー作家ジャン・リュルサの巨大な代表作が「世界の歌」という題名であり、その片隅に原爆のキノコ雲も描かれており、そのタペストリーの展覧会が1999年に広島で開催されたことに思いを馳せての締めくくりです。)